

## 調査研究活動実績

議員名：久保博道

平成27年度の活動実績報告は次の通りです。

### ○産業振興計画について調査研究

第二期産業振興計画の進捗と促進に向けて、産業成長戦略と地域アクションプランについて、可能な限り現場に出向いてヒアリングを行った。また、「拡大再生産」をキーワードとして、第三期産業振興計画を如何に促進さすか調査研究を行った。

### ○高知県まち・ひと・しごと地方創生総合戦略について調査研究

産業振興計画をベースに如何にすれば、高知県人口を2060年に政府試算の39万人から55万7千人を持って行けるのか、県のあらゆる施策を活用すべく調査研究を行った。

### ○南海トラフ巨大地震について調査研究

「命を守る」から、「命を繋ぐ」のステージに向けて、現場の実態を多くの方からお聞きをして、その上で自分なりに課題を深堀して、次の調査研究を行った。

## ○遅れているインフラの整備促進に向けて調査研究

遅れている本県の道路を始め河川・都市計画・海岸・港湾・砂防・急傾斜地等を如何にすれば少ない予算で効果的に県民の満足を得ながら達成できるのか、県民の声も聴きながら調査研究を行った。

## ○高知城の国宝化に向けての調査研究

全国の12城の天守の内、現在は5城の天守が国宝に認定されている。県民の誇りと観光客誘致に向けて、高知城を早期に国宝にすべく、文化庁や松江市役所でヒアリングを行う等、高知城の国宝化に向けての調査研究を行った。

## ○女性の働きやすい環境の調査研究

共働きが多い本県において、働きながら子育てをしなければならないお母さんの負担を軽減する必要がある。そのためにも、家庭・地域・職場においてその「仕組み」を構築する必要があり、そのことについて調査研究を行った。特に「病児・病後児保育の調査研究」を深堀した。

## ○次世代型園芸農業の調査研究

これからの中高知県の農業を考えた時、有力な選択肢としては、次世代型園芸農業がある。そのために、先進国であるオランダ出張の上、現地の実状をメリット&デメリット共にヒアリングした。同時に本県の三原村の先進地にも出向いて、今年の8月に本格的に四万十町でスタートする本事業に向けての調査研究を行った。

## ○国際観光に関する調査研究

2020年の東京オリ・パラ時に2000万人の外国人観光客の目標が一挙に4000万人に見直された。このように、今後益々、高知県をはじめ地方にも外国人観光客が周遊する。四国は昨年6月に観光庁から広域観光周遊ルートに認定されており、本県がインバウンドの先進県になるように調査研究を行った。

## ○災害常襲県を逆手に取った防災対策及び防災産業の調査研究

今後30年以内に70～80%で本県をはじめ太平洋岸を襲って来る南海トラフ巨大地震や毎年襲って来る台風等の災害を逆手に取って、災害対策先進県としてのシンポジウムの開催や防災産業の促進に向けて調査研究を行った。

## ○よさこい踊りの2020年オリ・パラでの演舞に向けての調査研究

観光を含む産業振興全般において大きなポテンシャルを持つよさこい踊りをオリンピック・パラリンピック等の世界の舞台でパフォーマンスできるように向けての調査研究を行った。

## ○教育全般についての調査研究

まずは「教育等の振興に関する施策の大綱」を実現するべく、各界各層の方々に対するヒアリングを行った。一方、障害者スポーツと合わせて競技スポーツの振興や英会話教育の充実に向けての調査研究を行った。

○福祉全般についての調査研究

保健・医療・福祉全般に向けて、様々な方とお会いしてヒアリングをしたり、当方の提案をお伝えしたり、様々な面から福祉にアプローチをした。特に全国に15年先行している高齢化の問題、例えば療養病床の問題等、本県が避けては通れない課題に対しての調査研究を行った。